

千葉大学基金

2022年度

活動報告書

INDEX

- 01 学長挨拶
- 02 ご寄付の使途報告・感謝の声
- 04 寄付者からの応援の声・サンクスプレート
- 05 寄付メニューのご紹介・遺贈による寄付のご案内
- 06 2022年度収支報告
- 07 感謝状の贈呈・銘板の掲示・税制上の優遇措置・お申込み方法



国立大学法人千葉大学長

中山俊憲

輝かしい未来を牽引する 世界に冠たる千葉大学へ

— Towards a world preeminent academic institution —

千葉大学は、1949年に5学部の新制国立大学として発足し、現在では10学部と多数の大学院やセンターから成る総合大学に発展しています。

その間、高度な専門的知識と倫理観を基礎に自ら考え行動し、国際社会においてリーダーとなる人材の育成に取り組んできました。

そのために主体的に学べる学修環境を整備するとともに、多様な文化・価値観を理解する多元的な視野の涵養に向けて海外留学支援体制を強化してきました。

しかし、法人化以降国からの基盤的経費が継続的に減額されており、経済的困難を抱えながら学業・研究に励む学生や若手研究者に対して十分な支援が行えなくなってきました。

そのため、彼らの修学支援や研究支援などは千葉大学基金が貴重な財源となっています。

皆様からいただいた寄付金は新型コロナウイルス感染症拡大に伴う学生支援事業や、世界をリードする若手研究者の研究支援のほか、学生の課外活動の支援等、幅広く活用させていただいております。

明日の日本をリードするグローバル人材の育成に向けた千葉大学基金の趣旨をご理解いただき、ご寄付を賜りたくよろしくお願い申し上げます。

5億円

ご支援件数
2,168件

2022年度 千葉大学基金ご支援総額

2022年度も皆様からの温かいご支援とご協力を頂戴し、総額5億円のご寄付を賜りました。

あらためて心より厚く御礼申し上げます。

皆様から頂いた寄付金は、大切に運用しながら本学の教育研究活動等に活用してまいります。

内訳等詳細については【P6 収支報告】をご覧ください



ご寄付の使途報告・感謝の声



融合理工学府 D3
カミラ デリムラト

○ 若手研究者支援事業

世界中の40年余にわたる研究にも関わらず、卵子の透明帯が精子を認識するしくみは解明されていません。私は、この認識のしくみをあきらかにするための研究をしており、得られた知見は将来的にはヒトの不妊治療などに応用できる可能性があります。

寄付金をいただいたおかげで一年間研究に集中でき、実験に必要な試薬なども購入でき、研究を順調に進めることができました。研究で得られた成果を日本分子生物学会大会で発表しました。

この機会を与えてくださった皆様に心より感謝申し上げます。これからも一生懸命努力して成果をあげて、社会に貢献をしたいと思います。

卒業後は、これまでの経験を活かし、有害動物の繁殖抑制方法の開発や、ヒト不妊の原因解明と治療法開発に貢献したいと思ひますし、生殖医学に限らず、生活習慣病など他の疾患の機構解明と治療法開発にも貢献したいと思っています。

○ 就職支援事業

千葉大学では就職支援情報システム「千葉大学 Unicareer」を活用し、千葉大生を強く求める企業からの求人票の検索、各種就職ガイダンス・セミナーへの参加登録、就職相談の予約などをいつでもオンラインで行うことができます。

学生一人ひとりが充実した学生生活を送り、安心して就職活動に取り組むことができるよう支援いたしました。

令和4年度の就職支援事業実績

- 14,924件の求人情報
求人票をはじめ、各種公務員の募集案内・過去問題集、インターンシップ情報、OBOG名簿の閲覧ができます。また、就職支援情報システム「千葉大学UniCareer」からは、求人検索、セミナー・就職相談の予約等がいつでも可能です。
- 年間で92回の就職ガイダンス実施
合同企業説明会・面接会をはじめ、ビジネス・マナー&コミュニケーション講座や公務員受験サポート講座など、幅広い就職サポートセミナーを開催。
また、教養科目において企業の経営者を迎えての授業も行っています。
- 毎日専門アドバイザーによる就職相談、模擬面接実施
一人ひとりのニーズに応える1対1の予約制就職相談を行っております。学外でも、ハローワーク千葉や千葉県が設置した「ジョブカフェちば」において、個別相談や応募書類のチェック、面接対策などを無料で利用することができます。

○ 修学支援事業（留学支援）

私は雪氷学を専門とする研究室に所属しており、雪や氷の上に生息する微生物に注目した研究を行っています。この度の海外渡航では、私が研究対象としている海外の氷河で調査を行いました。今後研究を進めていく上で必要となる試料を採取し、現地の研究者から氷河に関連した話を聞き知識を得ることができました。

いただいたご寄付は渡航費や調査における必要経費として活用させていただき、金銭的な負担を感じることもなく、調査に専念することができました。

私は博士後期課程への進学を予定しており、氷河上の微生物の繁殖と氷河の融解の関係性について明らかにすることを目標に、さらに研究を進めていきたいと考えています。今回の海外調査で得られた成果を発表できるよう、引き続き研究に励み、国内外で行われる学会やシンポジウム等で積極的に研究発表を行いたいと思います。



6,238名の学生が参加



864件の相談に対応



融合理工学府 M2
小林 綺乃

環境ISO 学生委員会 × 「Global +」 留学プログラム



タイ北部チェンマイ大学でSDGsと持続可能性について学ぶ

千葉大学環境ISO学生委員会は、2023年2月26日（日）～3月12日（日）まで、タイ・チェンマイ大学にて同委員会初となる海外留学プログラムを実施し、10名の学生が渡航して、チェンマイ大学が進めるSDGsに関わる優れた取り組みなどを講義とフィールドワークを通じて学びました。新型コロナウイルスの影響で中止となり、3年越しに実施することができました。

留学費用に関しては、「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」における株式会社京葉銀行からの寄付金より、1人あたり10万円の支援をいたしました。

参加した学生のコメント

チェンマイで過ごした日々は私にとって一生忘れることのできない2週間となりました。環境問題の中でもフードロスについて特に関心があったのですが、チェンマイ大学の学内に生ゴミから発電ができるシステムがあることにとても驚きました。今回のプログラムでは、大気汚染の現状を身をもって体感したことに加え、現地の学生と出会うことができ、優しさや勤勉さに大きな刺激を受けることができました。これらはオンラインではなく、渡航プログラムだったからこそ得られたことであると思いました。

平川菜苗（教育学部・2年）

チェンマイでの2週間では日本では得ることのできない経験をすることができ自分の中の価値観が広がりました。特に印象に残ったのは大気汚染に関する講義です。日本でも九州などではPM2.5の濃度が高いです。タイでも同じくらいだと思っていましたが違いました。街一面の空を曇らせ、まるで濁った霧のようでした。大学の環境は日本国内でも大きく異なります。千葉の立地の良いところを活かして様々な活動に取り組んでいき、他の大学とも交流して多角的な視野を身に着けたいと思いました。

恒川恵豊（園芸学部・2年）

「千葉大学×京葉銀行ecoプロジェクト」について



千葉大学と京葉銀行は2012年に包括連携協定を結んでおり、千葉大学で環境活動を主体的に担っている環境ISO学生委員会と京葉銀行が協同で実施しているプロジェクトです。国連の持続可能な開発目標（SDGs）の達成に向けて、京葉銀行の行員や取引先企業、地域住民、千葉大学の学生などを含めた千葉県内の多くの方々を対象に、環境意識の啓発活動を実践しています。

公式サイト https://www.keijobank.co.jp/ir/eco_project/





寄付者からの応援の声



千葉県庁弥生会 顧問
元千葉県議会議長
篠田 哲彦 様
Shinoda Akihiko
(千葉大学文理学部卒業)

未来に活躍する千葉大学生を願って

私は昭和31年3月に千葉大学を卒業し、同年4月に千葉県に入庁いたしました。入庁後は、毎年千葉大学の卒業生が後輩として入庁してくるのを楽しみにしており、特に、私が卒業した文理学部（現法政経学部）の卒業生の会を発足させ、今もなお、その交流は続いております。

もう知る人も少なくなりましたが、私が入学した当時の千葉大学生は、最初の2年間で旧陸軍の木造兵舎において過ごしました。良い環境と専門性の高い授業内容が相まってこそ、充実した教育が生まれると考えており、今回は、千葉大学生が望む勉強や研究ができる環境づくりの一助になることを願って寄付いたしました。

充実した環境の中、若者たちが千葉大学で学んだことを活かし、様々な分野で活躍する未来に少しでも役立てることができれば、千葉大学卒業生として、これほど嬉しいことはありません。

今後も、学生たちが伸び伸びと勉強に励み、友情を育んでいくことができるよう、千葉大学の益々の発展をお祈りしております。



有限会社荒井設計事務所
設計室次長
荒井 基樹 様
Arai Motoki
(千葉大学大学院工学研究科修了)

千葉大人は千葉大事人であってほしい

千葉大学大学院を修了し、大手組織設計事務所に建築意匠設計の道を12年間修業したのち、現在は地元の千葉県君津市で建築士として働いております。

社会人となってからも千葉大学との関りは深く、恩師の柳澤教授とは仕事でのお付き合いや、設計事務所で働く事についてなどを紹介する学部生向けの授業のお手伝いや、設計課題の講評などをさせていただいております。

学部2年生の授業では、私と同じ建築設計の道へ進みたいと考える学生も多く、興味を持って話を聞いていただきました。多くの質問を受け、私が学部2年生だった当時よりも将来をしっかりと考えている有望な学生が多く、共に働けるチャンスがあればと思い、将来が楽しみになりました。

そんな思いから千葉大生には、社会に、特に千葉県を主とした地域に貢献できるひとになってほしい。千葉大学には、地域に根差した教育を、千葉大事人の育成を進めてほしいと、微力ながら寄付をさせていただきました。

今後も仕事や先生の授業のお手伝いなどで千葉大学に足を運ぶことがあると思います。引き続き宜しく願いいたします。



寄付者一覧

一定額以上のご寄付を頂いた方々のご芳名を掲示させていただいております。

皆様のご協力に対し深く感謝申し上げます。

皆様から頂いた寄付金は、大切に運用しながら、本学の教育研究活動等に活用してまいります。



個人の寄付者一覧



法人・団体の寄付者一覧



サンクスプレート制度のご案内

サンクスプレートとは…

学部プロジェクトへの寄付に対する謝意として、寄付者様の名称等を、部局が管理を行う教室等の名称に付与する制度です。

西千葉キャンパス初のサンクスプレート設置



住友重機械工業様から教育研究環境充実のため継続的な支援を受けることとなったことへの謝意として、工学部15号館109号室を「SHI Lecture Room109」と命名し、このたびプレートを設置いたしました。

企業紹介ボードの前に立つ、住友重機械工業技術研究所の牧野所長（左）と工学部佐藤学部長（右）（当時）



寄付メニューのご紹介

千葉大学基金は「チャレンジを支え、人を育てる基金」です。

大学に一任

幅広く教育研究活動事業に活用させていただきます。



学生支援

修学支援（税額控除対象）

環境 ISO 学生委員会支援

学部支援、体育会ヨット部支援



研究支援

若手研究者支援（税額控除対象）

みらい医療

研究支援



千葉大学創立75周年事業

2024年に創立75周年を迎えるにあたり、記念行事のほか、陸上グラウンド記念募金を開始します。

陸上グラウンドは全学学生から構成される課外活動団体の使用や普遍教育授業「スポーツ・健康科目」の実践の場としての活用のほか、千葉市の広域避難場所に指定されております。



シンボルマーク紹介

千葉大学の10学部のイメージカラーを用いて、「75」の数字のシルエットを形作っています。



公式サイト https://kikin.chiba-u.ac.jp/262/75th_anniversary-1



遺贈による寄付のご案内

「遺贈によるご寄付」「相続財産からのご寄付」「お香典からのご寄付」を受け付けております。頂戴した寄付金は大切に運用しながら、学生の修学支援や教育・研究環境の整備に活用させていただきます。

未来を担う若者にあなたのご遺志をつなぎます

○ 遺言書の中で財産を譲り渡す先のひとつに、「国立大学法人千葉大学」をご指定ください。

遺言執行時に本学へ連絡が入ることにより、遺贈の受け入れ手続きを進めさせていただきます。また、本学へ遺贈した財産は相続税の非課税財産になります。

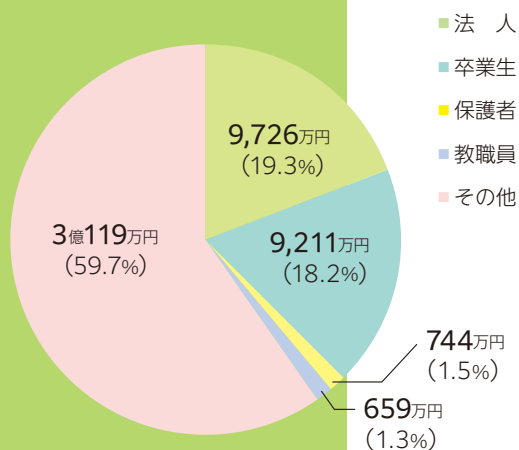
○ 相続財産からのご寄付、お香典からのご寄付

故人のご遺志、ご遺族の意思に沿って、相続財産やお香典からもご寄付いただけます。相続財産からのご寄付につきましては、ご寄付いただいた後、本学が発行する領収書や証明書を添えて相続税の申告期限内に申告を行うと、寄付した財産分は非課税となりますので事前にお問合せください。



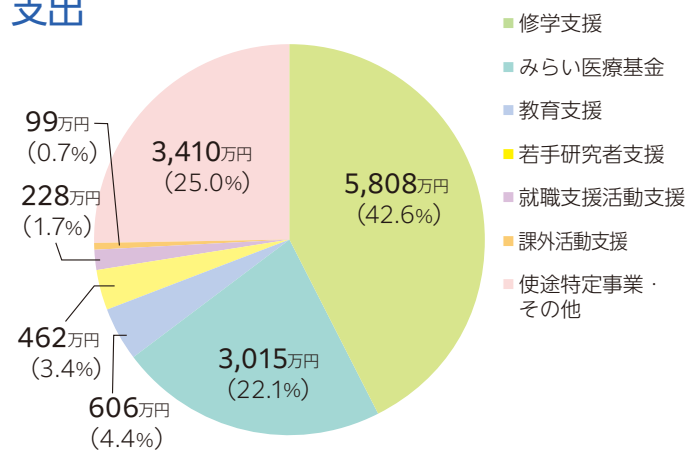
2022年度 収支報告

収入



区 分	件 数	金 額 (円)
法 人	166	97,262,404
卒 業 生	1,365	92,109,771
保 護 者	295	7,441,691
教 職 員	69	6,590,117
そ の 他	273	301,189,402
合 計	2,168	504,593,385

支出



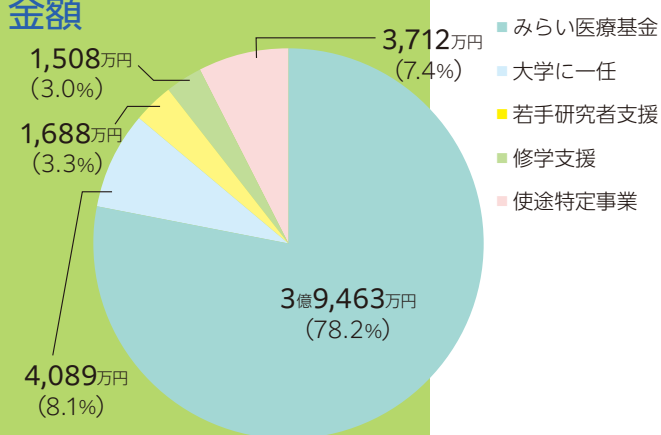
区 分	金 額 (円)
修学支援	58,076,304
みらい医療基金	30,150,768
教育支援	6,062,667
若手研究者支援	4,622,575
就職支援活動支援	2,278,360
課外活動支援	986,470
使途特定事業・その他	34,102,737
合 計	136,279,881

令和4年度収入額	令和4年度支出額	収 支
504,593,385円	136,279,881円	368,313,504円



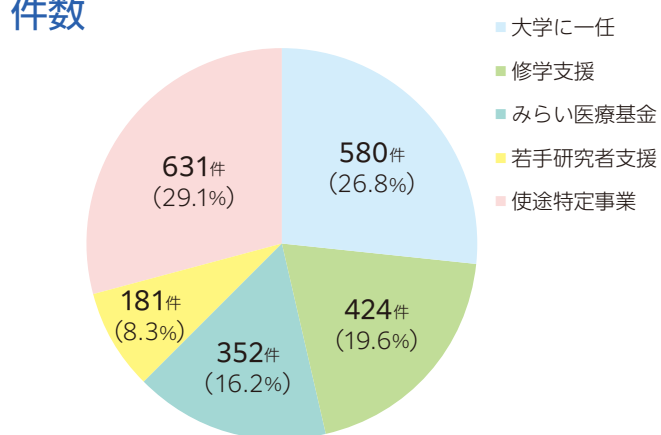
寄付目的内訳

金額



内 訳	金 額 (円)
みらい医療基金	394,625,544
大学に一任	40,889,933
若手研究者支援	16,877,000
修学支援	15,078,000
使途特定事業	37,122,908
合 計	504,593,385

件数



内 訳	件 数
みらい医療基金	352
大学に一任	580
若手研究者支援	181
修学支援	424
使途特定事業	631
合 計	2,168



感謝状の贈呈・銘板の掲示

感謝の気持ちを込めて、累計寄付金額に応じた顕彰等を行わせていただきます。

謝意	個人	法人
感謝状の贈呈	100万円～	500万円～
銘板（大）の掲示	100万円～	500万円～
銘板（中）の掲示	50万円～	200万円～
銘板（小）の掲示	10万円～	50万円～
お名前をホームページに掲載	1万円～	3万円～



税制上の優遇措置

01 個人からのご寄付の場合

寄付金が2,000円を超える場合は、確定申告を行うことにより税制上の優遇措置を受けることができます^(※1)。

	修学支援金 若手研究者支援金へのご寄付	左記以外のご寄付
所得税	「所得控除」または「税額控除」を選択できます。	「所得控除」を受けられます。
住民税	お住いの都道府県・市町村によっては「税額控除」を受けられます ^(※2) 。	

◎所得税の「所得控除」について

寄付金額から2,000円を差し引いた額が総所得から控除されます。

◎住民税の「税額控除」について

お住いの都道府県・市町村によっては「税額控除」を受けられます^(※2)。

- ※1 控除の対象となる寄付金額、及び税額控除額には上限があります。詳しくは、基金のホームページにわかりやすく解説しておりますのでご参照願います。
- ※2 住民税の税額控除が受けられるかどうかは、都道府県・市町村が定める条例によって異なります。詳しくは、お住いの都道府県・市町村にお問い合わせ願います。

02 法人からのご寄付の場合

全額損金算入が可能です。



お申込み方法

銀行・ゆうちょ銀行窓口でのご寄付	同封の払込取扱票にご記入のうえ、金融機関の窓口からお振込みください。
クレジットカードでのご寄付	千葉大学基金のホームページからご寄付をお願いいたします。 千葉大学基金
遺贈によるご寄付	遺贈によるご寄付も承っております。 詳しくは、千葉大学基金室（043-290-3902）までご相談ください。

お問い合わせ先

千葉大学基金室

TEL. 043-290-2014

ご不明な点がございましたら、遠慮なくお問い合わせください。

メール

kikin@office.chiba-u.jp

HP

<https://kikin.chiba-u.ac.jp>

住所

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町1-33

千葉大学基金



基金の管理運営について

学内に設置した基金運営委員会において承認された活動計画により寄付募集活動を行い、事業実績・収支についてはホームページに掲載し、透明性を確保しております。また、監査は学長が指名した2名で行われております。寄付のお申し出が、市民社会の秩序や安全に脅威を与える反社会勢力又は団体の影響を受けている場合には、寄付をお断りし、その者の費用で返金させていただきますので、あらかじめご了承ください。

個人情報の取扱いについて

本学は、「国立大学法人千葉大学個人情報取扱基本方針」に基づき、提供された個人情報を利用目的の範囲内に限って取り扱い、その正確性を保持し、安全性を確保するなど、個人情報の収集・管理等に関する適正な取り扱いを確保するよう努力いたします。ご寄付により取得した個人情報につきましては、本学からの領収書とお礼状の送付、寄付者様の顕彰に関する業務のほか、本学から寄付者様にご連絡する必要がある場合のみ利用します。